

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2019年9月30日発行

第5号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

春の雨の季節には、主に雨を求めよ。

主は稲妻を放ち、彼らに豊かな雨を降らせ

すべての人に野の草を与えられる。

ゼカリヤ書 10章1節

長い夏休みのときを、大切に過ごせましたか。クラブ活動や奉仕活動など、日頃時間をかけることができないことにも、じっくり取り組めたのではないかと思います。2学期が始まりました。9月の前半は、この夏一番の暑さと感じられる日もありましたが、ようやく秋の気配を感じるようになりました。急な天候の変化に体調を崩さないようにしましょう。

さて、2学期はとても忙しいときです。10月の学年行事、文化祭、キリスト教強調週間、中学讃美歌コンクール、クリスマス礼拝など、大きな行事がたくさんあります。ですから、生徒一人ひとりが挑戦し、活躍し、成長する場がたくさんあります。

そんな中で、苦勞し、疲れ、勇気をなくすようなこともあるかもしれません。イエス様はそんなとき、何を求めますかといわれます。農業では、水がとても大切です。水が与えられなければ、植えることも、収穫することもできません。それは、人の力ではどうしようもない、自然の力に頼むしかないものです。そのわらをもすがる思いのとき、主に祈り求めよといわれます。主に依り頼めといわれます。これは、付け焼き刃の対応で済ませるのでなく、与えられた使命に立ち返り、一から歩み直せといわれているのだと思います。

高3のみなさんは、広島女学院中高のいよいよ最後のときです。ホールやクラスでの毎朝の礼拝、授業後の掃除、一日の時間の使い方など、自分のペースを守り、大切に過ごしてほしいです。

9月最初の始業礼拝で、教員の夏の研修会で与えられた以下のことばを生徒のみなさんにもお伝えしました。『「自分の文脈」でなく、「相手の文脈」で伝える。』一生懸命になればなるほど、このことばも大きな意味をもつと思います。

爽り多い、そして一人ひとりが安心して過ごす2学期となることを祈ります。

(校長)



8・6 平和祈念式・平和記念礼拝(被爆74周年)

8月6日午前10時より、ご遺族・関係者の方をお迎えして平和祈念式が行われました。中学茶道部の献茶、平和を祈る週に中学生が折った千羽鶴の献納、中学合唱部の



合唱、中3のF・Mさんの追悼のことば、中学YWCA部のハンドベル演奏などがあり、

最後に女学院の原爆慰霊碑前で参列者が献花をしました。

午後1時30分からは、中1、中3、高2の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、8・6平和記念礼拝を捧げました。講師の前田瑞枝さんは、国民小学校3年生の時に、爆心地から4.1kmの仁保町青崎で被爆。戦後、女学院に入学し、友だちと共に学び、お弁当を食べられる幸せをつくづく感じたといいます。被爆体験を長く語らずに来たけれど、幼い孫が「きのこ雲を私も見たかった」と言うのを聞いて、知らないことの怖さを感じ、孫が女学院中2の時に、身近な被爆体験を聴くという宿題で話し始めた



そうです。「平和は私たちでつくり出すもの、皆さん一人一人は神様から大きな賜物をいただいている。その賜物を神様の望まれる平和な世界の実現のために使ってください」と語って下さいました。

礼拝の中で、犠牲となった350余名の女学院の生徒・教職員と全ての原爆犠牲者を悼み、黙祷を捧げました。

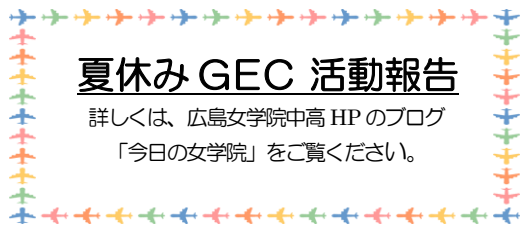
(宗教教育委員会)

るるん♪女学院

7月15日(月)、海の日に合わせて、小学生対象の学校見学会である「夏のオープンスクール～るるん♪女学院～」が行われました。開始から絶え間なく小学生たちが家族で来校し、学校説明を聞き、授業体験に参加し、課外活動の発表に耳を傾けていました。また、訪問者たちは校内を巡り、スタンプラリーを集め、女学院のグッズを受け取っていました。制服の試着も多くの人を集め、その可愛さが好評を博していました。本校の生徒たちも炎天下、受付や案内、海外研修の発表や説明会の司会など縦横に活躍し、将来の女学院生たちを迎えていました。皆が笑顔絶やさず自分たちの「後輩」たちに接し、彼女たちに進んで声をかけ、その不安を除き、緊張をほぐしていました。そのためか、どの企画も満足度が非常に高く、インターネット上のアンケートでは前向きな感想が後を絶ちませんでした。「生徒さんの対応がとても親切で感じが良く、娘がより一層憧れたようです。」「お姉さん達が各所で気配りをして下さっていたので安心して色々なプログラムに参加できました。」「生徒の皆さんがとても礼儀正しく、親切で素晴らしいと思いました。」「生徒さんが、皆で盛り上げようと、力を合わせてがんばっていました。」「先生に何も言われなくても生徒の皆さんが自分からよく動いているのが大変印象的でした。(中略)(娘も)憧れを強めているようです。」「やはり、すばらしい学校ですね。合格をいただけるよう、これからも頑張ってください。」このような声が数多く寄せられました。



(広報部)



夏休みGEC 活動報告

詳しくは、広島女学院中高 HP のブログ
「今日の女学院」をご覧ください。

I. 夏期海外生活体験学習

7月23日から8月6日まで、中3生徒15名は、オーストラリア・メルボルン郊外に位置するキルビントングラマースクールでのホームステイ研修に参加しました。

到着した当初は英語しか通じない環境や生活習慣の違いに戸惑っていましたが、徐々に発言や質問をすすんでできるようになりました。また、日本語や体育、芸術など様々な授業に参加させていただき、グループやペアでの活動をしながら現地の生徒達と交流しました。

8月2日には、広島や平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒達は準備してきたパワーポイントを見せながら、広島女学院の紹介や、原爆や広島の復興、女学院での平和活動、を英語で説明をしました。キルビントン生達はとても真剣に聞いてくださいました。その後、ともに輪になって祈りを捧げ、折鶴を折りました。

2週間というわずかな時間でしたが、生徒達は英語力の向上もさることながら、自らすすんで行動することの大切さ、異文化におけるコミュニケーションの取り方など、研修を通してたくさんのことを学びました。

(引率担当)



II. Peace Forum

8月7日、Peace Forumを開催しました。このフォーラムは11年前、ハワイのプナホウ高校（オバマ前アメリカ大統領の出身校）と本校との小さな交流会としてスタートし、今年は100余名もの参加者をお迎えしました。プナホウ高校はもちろんのこと、遠方から沖縄尚学、玉川聖学院、関西創価、長崎東、県内からも盈進、武田高校の生徒・先生方にご参加いただきました。

今年は、核軍縮はもちろんのこと、SDGsにテーマを広げました。生徒たちはそれぞれの関心に応じて、核軍縮、ジェンダー・LGBTQ、多文化共生、環境問題などのグループに分かれ事前リサーチを行い、当日アクションプランを発表し批評し合いました。2学期以降、身近でできることから何らかのアクションを校内でスタートしたいと考えています。

(Peace Forum担当)

III. 核廃絶 夏の街頭署名活動

今年の夏の街頭署名は7月27日からスタートしました。去年は台風のため中止となった結団式を、今年は松井広島市長、小泉広島平和文化センター理事長、湊院長をお迎えし、無事に開催できました。来賓の方々からのメッセージは生徒にとって大きな力となりました。今年も全国および海外から数多くの学校が街頭署名活動に参加してくださり、また現地でも諸外国の人を含め署名を集めることができ、多くの人々にこの活動が理解され、支持されているのだと実感しました。今後も月に1回程度、街頭署名を行っていきますので、その際にはご協力いただければと思います。



(署名実行委員会顧問)

IV. 碑巡り案内

今年度も、夏休みに碑めぐりを行いました。今年、香蘭女学校、敬和学園高校、共愛学園、玉川聖学院、関西創価高校に平和公園を案内しました。例年は高校生だけで行っていた碑めぐり案内ですが、EP受講者の中学3年から高校2年の生徒を中心に行いました。また、碑めぐりを終えた後には、各グループで生徒の感想をたがいに話し合っ共有する時間をとるようにしました。そこで、同年代の中高生から慰霊碑の説明を聞くことで大きな刺激をもらったという感想をたくさんいただきました。碑めぐり案内をした生徒にとっても、熱心に説明を聞いてもらい、これからの活動への励みとなったかと思えます。9月24日には、同じランバスリーグの啓明学院中学の修学旅行生を迎え、碑めぐり案内を行います。

(碑めぐり担当)

保健室だより (5)

9月とはいえ、まだまだ暑い日が続く、体調不良を訴えて、保健室に来室する生徒も多いようです。特に、夜眠れず、食欲も低下し、朝食もとれない状況であれば、心と体がサインを出していますが、保健室でおすすめているのは、朝食は無理でも、必ず水分は家庭で、とってきてもらうようお願いしています。なにかと緊張の多い新学期。身体のリズムを整えることが、今日の活力を生み出します。

(保健室)



心の健康 (5)

夏の暑さからくる疲れが尾を引いて、9月には「やる気が出ない」「イライラする」などの訴えをよく聞きました。その9月も去って今は10月。実りの秋です。

前回に引き続いてストレス解消のヒントを頭文字順にお知らせします。今回はEです。

E-eating・食事を大切にしよう

食べることは人間が生きていくことの基本です。食べることで身体が成長し、健康が維持され、そして心が潤います。身体と心は相互関係にあるので、ほど良く食べると心も落ち着きます。心配事がありストレスがかかると食べられなくなったり、やたら食べ過ぎてしまったりします。

食事は身体への栄養補給だけでなく、人は誰でも美意識を持っているので、食べ物のきれいな色や香り、甘味、旨味などから喜びや安らぎ、満足感を得ます。毎日の生活の中で、食事に心配りをし、工夫することはストレス解消にもなります。



(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学合唱部

*第86回NHK全国学校音楽コンクール

広島県コンクール 銀賞

*第58回広島県合唱コンクール 金賞

*第58回中国合唱コンクール 銅賞

◇個人の活躍

*広島市中学校新人水泳競技大会

K・K (2-5)

200m自由形 6位

100m背泳ぎ 7位

《高校》

◇高校ソフトテニス部

* 広島地区高等学校ソフトテニス新人選手権大会(個人戦)

K・Y (2-C)

H・K (2-B) ペア ベスト32

⇒インドア大会出場権獲得

◇高校水泳部

* 広島地区秋季水泳競技大会

女子総合 6位

団体: 400mリレー 5位

800mリレー 5位

個人: G・R (2-D)

100m背泳ぎ 2位

200m背泳ぎ 4位

⇒上記種目で県大会出場

K・Y (1-C)

400m自由形 4位

800m自由形 3位

⇒上記種目で県大会出場

N・Y (1-C)

100m背泳ぎ 7位

⇒上記種目と50m自由形で県大会出場

S・Y (1-D)

50m・100m自由形

K・N (1-E)

100m・200m自由形

Y・S (1-E)

100m自由形

M・M (1-C)

100m背泳ぎ

N・S (1-C)

リレー選手

⇒以上5名、上記種目で県大会出場

◇高校音楽部

* 第86回NHK全国学校音楽コンクール

銅賞

* 第58回広島県合唱コンクール 金賞

⇒中国合唱コンクールに進出

◇個人の活躍

* 2019年度広島地区高等学校体操競技

秋季大会 女子の部

S・K (2-C) 個人総合8位

* 第67回青嵐杯高校生スピーチコンテスト

優勝 Y・R (2-D)

スピーチタイトル Nothing Special

《中高》

◇中高マンドリン部

* 第49回全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール

朝日新聞社賞 (第2位にあたる) 受賞

◇中高吹奏楽部

* 第60回広島県吹奏楽コンクール

高等学校小編成部門 金賞

中学校A部門 銀賞

**広島女学院メサイア演奏会、男声合唱
団員募集**

恒例のヘンデル作曲「メサイア」演奏会を、今年も12月22日(日)17時30分より、ゲーンズホールにて開催します。合唱には例年多くの皆様のご協力を頂いておりますが、現在、男声の合唱メンバーを募集しております。保護者の皆様方でご希望の方はふるってご参加くださいますようお願いいたします。お申し込みは、下記参照の上、メールで送信願います。

・メールの「件名」は「メサイア合唱(男声)参加申し込み」と明記してください。

・記入事項

①お名前

②パート名(テノール又はバス)

③ご住所

④電話番号(練習等に関する緊急連絡用)のみ使用)

⑤お子様のお名前と学年

※メールの宛先 office@hjs.ed.jp



今月の聖句

あなたの重荷を主にゆだねよ。

(旧約聖書 詩編 55 篇 23 節)

朝日新聞の土曜版に、淀川キリスト病院チャプレン（病院付き牧師）の藤井理恵さんが連載を書かれています。ある時、ホスピス病棟の 60 代の女性から「どうしても赦せないことがある。こんな気持ちのまま死んでいくのはあまりにつらい」という相談を受けました。「人間にできる領域は決まっていて、そこらか先は神様に預けるしかない」と伝え、祈るように勧めました。その方はなかなか祈れなかったそうですが、キリスト教学校の出身で英語も得意。英語の聖書に「あなたの重荷を主にゆだねよ。」の「ゆだねる」が「cast（投げる）」と書かれていて、「ああ、投げていいんだ」と気持ちが変わり、「神様、わたしをあなたに投げます」とお祈りしたら楽になった、恨みから解放されて最期の日々を過ごされたそうです。

何を失っても、残るものがある。どんな時にもそばにいて下さる方がいる。自分の力ではどうしてもできないことにぶつかっても、祈ること、ゆだねることができる。そのことを知るために、皆さんはキリスト教学校であるこの学校に来たのだと思うのです。そして、そのことを知っていてよかったと思える日が来ることを願っています。

9月13日 中学ホール礼拝より
(聖書科 T.M)

10月行事予定

1	火	創立記念日 冬服更衣 高2修学旅行
2	水	中3研修旅行 7限 高1PTS(選択科目)
3	木	中1'パイル'デ'キャンプ'(4限~6限)
4	金	中1・2、高1・3遠足
5	土	代休(10月12日(土)) 高3'ベネット'駿台記述模試
6	日	高2駿台全国模試(希望者)
7	月	PTAバザー収集日
8	火	7限 高2PTS(選択科目)
9	水	授業アンケート
10	木	
11	金	
12	土	保護者対象学校説明会 (L・総) 秋のオープンスクール
13	日	
14	月	体育の日 私学フェスタ
15	火	中間テスト(高2・3)
16	水	(中2・3,高1)中1月曜授業 1限8:55~10分休憩
17	木	(中1) 1限8:55~15分休憩
18	金	1限8:55~15分休憩
19	土	PTAバザー収集日 (L・総)
20	日	高1駿台全国模試(希望者)
21	月	火曜授業
22	火	即位礼正殿の儀の日
23	水	4~6限 中2・3論理力評価テスト [EP]
24	木	
25	金	
26	土	(中学)漢字検定(中3) (L・総)
27	日	高3'ベネット'駿台マーク模試
28	月	
29	火	中間テスト素点確認
30	水	
31	木	月曜授業

